

花

日本の四季を美しく彩る数々の「花」。花を愛でる文化が根付いた日本では、外国原産の花も多数、生産されています。美しい花を作る「和」の技術は海外からも高い評価を受けていて、近年は世界各国で「日本の花」のファンが増えています。

取材・文／Office彩蔵（P4～9）、下境敏弘（P10～13）
撮影／長谷川朗（P8～9）、島誠（P10～11）

花を愛でる日本人の心

野辺の花を詠んだ万葉の世から、華やかなブーケを贈る現代へ。時代は変わっても、日本人は「花」を愛し続けています。

四季の移り変わりを花で楽しむのは日本の文化

日本では季節ごとにさまざまな花を見ることができます。春は満開の桜、あるいは藤。夏の暑さを忘れさせてくれる朝顔。秋は野菊や彼岸花。寒い冬でも梅や水仙の花が見られます。

春の代名詞ともいえる桜と、秋の花である菊は、どちらも日本の国花です。そのほか、都道府県ごとに「県花」があります。各都道府県で制定されている県花は、郷土に深く関わりのある花から選ばれたもの。それぞれの地方で違った花が見られるのも日本のよいところです。

俳句の季語にもなることから花は四季折々の情景と結びつき、日本文化に欠かせない要素となっています。例えば歌。万葉歌から現代のポピュラー音楽に至るまで、たくさんの方が登場します。女性のファッションは昔も今も花柄が人気で、老若男女がこぞって楽しむお花見も、日本ならではの文化といえます。

野山に自然と咲く花に美を見いだすだけでなく、植えて育て、切り花を飾って観賞するのもまた日本の文化。日本庭園に足を運べば季節ごとに色とりどりの花が見られますし、華道（生け花）に触れたことのある方も多いはずです。

日本では毎年新しい品種が登場し、その数は世界一

花を愛でる文化は、現代にも受け継がれています。庭やベランダで花を育て、窓辺に鉢植えを置き、部屋にはちょっとした切り花を。どこにでもある日常を支えているのが、日本の農業です。切り花や鉢植えなどの観賞用植物（花き）の栽培は47都道府県すべてで行われていて、なかでも愛知県では全農業産出額の2割を花きが占めるほどです。

カーネーションやバラといった外国原産の花も栽培され、現在、日本で生産されている花きは約4万品種にもなります。さらに毎年2000～3000の新しい品種も加わり、その数は世界一。優れた栽培技術で美しい花を育てる日本の花き農業は、国際的にも高く評価されているのです。

■主な切り花の生産県

生産額1位／平成26年産

種類	都道府県名
菊（きく）	愛知県
ゆり	新潟県
カーネーション	長野県
バラ	愛知県
ガーベラ	静岡県
洋らん類	徳島県
りんどう	岩手県
かすみそう	熊本県

出典：農林水産省「花き生産出荷統計」

「ふるさとの花（全国47都道府県の花）」平成23年7月15日発行 ※現在は販売されていません。



上から

- 1列目●ハマナス(北海道)、リンゴノハナ(青森県)、キリ(岩手県)、ミヤギノハギ(宮城県)、フキノトウ(秋田県)、ペニバナ(山形県)、ネモトシャクナゲ(福島県)、
- 2列目●サクラソウ(埼玉県)、ナノハナ(千葉県)、ソメイヨシノ(東京都)、ヤマユリ(神奈川県)、チューリップ(新潟県)、チューリップ(富山県)、クロユリ(石川県)、
- 3列目●レンゲソウ(岐阜県)、ツツジ(静岡県)、カキツバタ(愛知県)、ハナショウブ(三重県)、シャクナゲ(滋賀県)、シダレザクラ(京都府)、ウメ(和歌山県)、
- 4列目●ニジッセイキナシノハナ(鳥取県)、ボタン(島根県)、モモノハナ(岡山県)、モミジ(広島県)、ナツミカンノハナ(山口県)、スダチノハナ(徳島県)、オリーブ(香川県)、
- 5列目●クスノハナ(佐賀県)、雲仙ツツジ(長崎県)、リンドウ(熊本県)、ブンゴウメ(大分県)、ハマユウ(宮崎県)、ミヤマキリシマ(鹿児島県)、デイゴ(沖縄県)

- バラ(茨城県)、ヤシオツツジ(栃木県)、レンゲツツジ(群馬県)、
- スイセン(福井県)、フジザクラ(山梨県)、リンドウ(長野県)、
- ノジギク(兵庫県)、ナラヤエザクラ(奈良県)、ウメ(和歌山県)、
- ミカンノハナ(愛媛県)、ヤマモモ(高知県)、ウメ(福岡県)

とはいえ、初めは何を贈ればよいか迷うもの。最近のトレンドを知っていると選びやすいです。

「少し前まではインパクトのある大輪系がトレンドで、ダークな色合いが人気でした。最近ではシャンペトルブルーという、ナチュラルなスタイルが注目されている影響で、草花のような素朴で可憐な花が人気です。シャンペトルとはフランス語で田舎風という意味です」

優しい雰囲気「かすみそう」も、若い女性の間で花かんむりがブームになっていることから再流行の兆しが。そのほか、バラ、スイートピーなど、香りの良い花も喜ばれるでしょう。

流行りはナチュラル系、田舎風ブルー、香りの良い花

みの一つとして、女性へ花を贈ることを教えているそうです」

日本では、特に男性から女性へ花を贈る習慣はありませんでしたが、最近では変化があるようです。欧米の習慣が徐々に知られるようになり、プレゼントに花を選ぶことも、若い男性を中心に特別なことではなくなってきました。男性から女性へ2月14日に花を贈る「フラワーバレンタイン」も認知されつつあります。今まで花に興味なかった人も、記念日に合った花の例を参考に、贈ってみてはいかがでしょうか。

花を贈る日として誰もがイメージするのは、誕生日や母の日かもしれません。でも実は花を贈るタイミングは、一年を通じてたくさんあります。花の国日本協議会の小川典子さんに聞きました。

「欧米では花を贈る日がもとも多く、年齢性別を問わず習慣になっています。男性から女性へのプレゼントは当たり前ですし、女性同士も贈り合います。イギリスの私立の男子高校では紳士のたしな

歳時とお祝いのご挨拶

花を「贈る」ということ

日本では歳時を祝う品として、季節感を表す花が使われてきました。今でも誕生日やいろいろな記念日の贈り物として親しまれています。

監修／小川典子（花の国日本協議会プロモーション推進室長・フラワーシーンプロデューサー）

＼お祝いの席に花を贈ろう／

旅立ちの日である卒業式や送別会には、スイートピーやチューリップが適しています。入学式や歓迎会にはガーベラを。結婚式の花嫁に贈る場合は、その時期の旬の花から、ピュアなイメージの白、淡めのピンク、サムシングブルーの言い伝えからブルーの花を選んで。結婚記念日に奥様へ贈るならバラが素敵ですが、二人の思い出の花があるならそれを選んで。

スイートピー

印象的な甘い香りと「門出」「思い出」といった花言葉から、新たな出発を祝う花としておすすめ。



ガーベラ

一年中出回っているが、最盛期は春と秋。「希望」「前進」という前向きな花言葉なので、応援の気持ちにぴったり。



フラワーバレンタイン

2月14日は実は世界で最も花が贈られている日。そんな世界標準のバレンタインデーを提唱し、男性の花贈りを応援する活動が「フラワーバレンタイン」。12本の花一本一本に愛を込めて贈るスタイル「ダズンフラワー」を提案中。

フラワーバレンタイン
<http://www.flower-valentine.com/>
(花の国日本協議会)



記念日に合った 花の例

さまざまな記念日やイベントに合わせ、季節も感じさせてくれる贈り物にぴったりな花の一例をご紹介します。



ダリア

1988年に日本で制定され、この日に入籍するカップルも多いそう。華やかさが魅力のダリアも、秋が深まって鮮やかに色づくバラも花持ちが良くなる季節。

11月22日
いい夫婦の日



ポインセチア

原産国メキシコの呼び名は「ノーチェ・ブエナ」＝「聖夜」という意味。一鉢あるだけでクリスマスモードに。切り花で彩るなら星形に咲くアマリリスが華やか。

12月24日
クリスマス イブ



アルストロメリア

花言葉は「未来への憧れ」。未来を担う新成人にぴったりな花。春を告げるヒヤシンス、水仙など香りの良い花と組み合わせても素敵。

1月
(第2月曜)
成人の日



チューリップ

1.31がアイ、サイと読めることから始まった記念日。色数が豊富なチューリップや香りの良いスイートピーで気持ちを表現。バラやラナンキュラスも人気。

1月31日
愛妻の日



あじさい(鉢)

定番のカーネーションは不動の人気で、季節のバラをプラスしたりデザインは多彩に。最近では、毎年めずらしい花形や新色が登場するあじさいの鉢も大人気。

5月
(第2日曜)
母の日



ひまわり

幸福や希望を象徴するイメージカラーの黄色い花を。ひと足早く夏を感じられるひまわりが最近の父の日のトレンド。黄色いバラもポピュラー。

6月
(第3日曜)
父の日



ミディ コチョウラン

贈られる方の年代を考えて落ち着いたものを選びがちだが、華やかな花や色のほうがかえって喜ばれることも。このほか、定番のりんどうも品種が豊富。

9月
(第3月曜)
敬老の日



マム(菊)

古風な印象の菊も海外ではマムと呼ばれ、今や日本でもさまざまな花形が人気。ハロウィンパーティのデコレーションにぴったり。ガーベラもおすすめ。

10月31日
ハロウィン



チョコレート コスモス

色はもちろん香りもチョコレートそっくりなコスモスの一種。幸福感あふれる春のラナンキュラス、ガーベラ、チューリップなどと組み合わせるとおしゃれに。

2月14日
バレンタインデー



桃

古くから桃の香気は邪気を払い、不老不死をもたらす植物といわれてきた。桃には葉の花、チューリップやコデマリを合わせて春の花束にしても。

3月3日
桃の節句



ミモザ

この日は「国際女性デー」。ロシアや東欧、ベトナムなどでは恋人や職場の女性へ花を贈る。イタリアでは通りすがりの女性にもミモザを贈るそう。

3月8日
ミモザの日



カラー

旬のカラーの中でも「ホワイト」にちなんだ純白のものを。愛にまつわる花言葉が多いチューリップやラナンキュラスも女性に好まれる。

3月14日
ホワイトデー